

令和6年度第2回 かがしま外国人材受入活躍推進会議の結果（概要）

- 1 日時 令和6年11月14日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 ホテル ウェルビューかごしま
- 3 出席者 42名（経済・業界団体, 監理団体, 有識者等, 国, 市町村, 県）
- 4 内容

- (1) あいさつ
- (2) 外国人材活用実態調査結果（中間報告）の概要について
- (3) 主な協議内容

かがしま外国人材受入活躍推進戦略改訂（案）概要に係る意見交換

【県農業協同組合中央会】

- ・ 地方自治体職員の人手不足も深刻であり、外国人材に頼らないといけない。今後の施策展開のうち「外国人材の確保」について、高度外国人材は、一般の事務職も確保の対象に加えた方が良い。

【中小企業地域振興事業協同組合】

- ・ 技能実習生の来るきっかけの一つは賃金。鹿児島県は賃金が低く、都会の企業に負けてしまう。行政から金銭的な支援が無い。

⇒【事務局】

- ・ 賃金については、日本人同等を企業にも守っていただくとともに、外国人材に鹿児島を好きになってもらう取組をしたい。県内企業は従業員数が30人以下の企業が6, 7割を占めている。そういった企業の声をしっかり受け止めていきたい。

【県農業協同組合中央会】

- ・ 技能実習生は日本語を勉強する機会が無い。できればオンラインでの日本語学習に係る支援があればありがたい。
- ・ 県内の公共交通機関について、観光客向けの案内はあるが、鹿児島に住んでいる外国人労働者向けの案内もあるとありがたい。
- ・ 公共交通機関の方の、外国人材等への接遇も大事。外国人材に優しい県になれるようお願いしたい。

【県行政書士会】

- ・ 外国人材の確保について、「技能実習生や特定技能外国人」と「高度外国人材」は、確保の方法に違いがあり、同じような確保

の方法ではうまくいかない。

- ・ 「送り出し国との関係構築」について、戦略改訂（案）にある国の外国人材は既に多くの方が県内で就労しており、監理団体や企業は既につながりがあることから、今後受入れが期待される国の情報を企業に提供するなど、振り幅があっても良いと思う。
- ・ 「本県の魅力のPR」について、外国人材の目的は賃金であり、観光客と同じPRでは効果的でない。例えば、日本語教育に力を入れているといったPR方法も進めていったほうが良いと考える。

⇒【事務局】

- ・ 戦略改訂にあたっては、高度外国人材もしっかり整理・分析していきたい。

【県飲食業生活衛生同業組合】

- ・ 外食業は外国人材の受入れ実績がまだ少ない。組合員も、在留資格の違いをよくわかっていない。セミナーなどで周知していかなければならない。
- ・ 外国人材向けの衛生等に係る講習ができないか、県生活衛生課と相談していきたい。

⇒【事務局】

- ・ 本会議は様々な分野の方が参加しており、各分野の個々の悩みなどを把握しきれていない。構成員の皆さまに相談しながら、本会議の分科会のようなものを作るなど、深い議論ができればと思う。

【鹿児島大学法文学部】

- ・ 日本語教育の支援はニーズが様々であり、まずはそこを調査する必要がある。日本語教育に係る調査を何か実施しているのか。

⇒【社会教育課】

- ・ 県社会教育課では、公民館講座の中で住民向けの英語、中国語を学ぶ機会を設けている。
- ・ 在留外国人のニーズは把握していない。今後、日本語教育に関してどのようなニーズがあるのか把握し、公民館関係者で市町村の方々に向けて啓発していきたいと考えている。

#### 【県行政書士会】

- ・ 日本での生活を充実させる日本語も大事であるが、育成就労から特定技能、高度外国人材への移行するための試験に合格するための日本語教育も重要である。

#### 【ユニバーサル事業協同組合】

- ・ ベトナムで人材を募集しても、若い人はほとんど来ない。一番の問題は日本人とのコミュニケーション。企業への労働関係法令の周知も必要になってくる。

#### 【県国際交流協会】

- ・ 先日開催したシンポジウムにおいて、東南アジア出身の方から、鹿児島に住みやすさについて、物価が安い、気候が似ているといった理由のほか、挨拶が返ってくるという意見があった。こういったことが住みやすさにつながっていると考える。

#### 【鹿児島市】

- ・ 本市は外国人向け相談窓口を設置しているほか、留学生の職場見学などに取り組んでいる。市としてどの程度のことのできるかといったことを連携強化してきたい。

#### 【鹿屋市】

- ・ 鹿屋市は外国人材が増えているが、効果的な施策ができていない。

#### ⇒【事務局】

- ・ 県では、外国人材の地域定着に係る取組に対して支援しており、昨年度はいちき串木野市の公民館の取組に対し支援をおこなった。本取組に係る報告会を1～2月に実施するので、ぜひ参加いただきたい。

#### 【枕崎市】

- ・ 今後、外国人材の家族が増えてきた場合に、福祉や教育関係の支援が必要となってくる。国などにおいて財源確保いただければ取組を進めていける。

#### ⇒【事務局】

- ・ 財源については国へ要望していきたい。